

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

教育上、特別な配慮を要する子どもの割合が増加傾向にある中、行政分野を超えた連携が不可欠であることから、医療や福祉、教育、フリースクール、就労関係等、各関係機関における特別支援教育に係る高い専門性を有する方々により、幅広い意見交流や協議を行う。

個々の抱える問題が複雑化・多様化していることから特別な支援を必要とする児童生徒や保護者等に対して総合的に相談に応じる体制を整備するとともに、児童生徒個々の特性に応じたきめ細かな指導・支援を目指す。

成果

1 「函館市特別支援教育推進協議会」開催

当協議会では、特別支援教育における喫緊の課題である教育と福祉の連携や、切れ目のない一貫した支援の在り方などについての共通理解が図られた。年3回の「特別支援教育研修」の開催が決議され、また特別教育支援員が70名から74名に増員された。

2 「函館市南北海道教育センター専門研修」実施

令和元年度から3年間、年間3回の特別支援教育に係る研修を実施した。市内小中学校教職員及び近郊の特別支援学校教職員等が参加し、特別支援教育の視点を生かした通常学級における授業や学級づくり、発達障がいをもつ児童生徒のアセスメントの方法などについて理解が深まった。

事業内容

1 「函館市特別支援教育推進協議会」を毎年2回程度開催した。

当該協議会は教育をはじめ医療関係者、学識経験者、児童福祉関係者等20名で構成され、本市の課題について多様な専門性を有する立場から、次の項目等について意見交換や協議を行った。

- ①教育上特別な配慮を要する子どもへの支援にあたっての教職員の資質の向上について
- ②さらなる関係機関の交流について
- ③相談機関や相談体制について、保護者への周知・浸透の促進

2 「函館市南北海道教育センター 専門研修」を年3回開催し、延べ530名の受講した。

R1 特別支援教育Ⅰ(7/26開催), 特別支援教育Ⅱ(7/30開催), 特別支援教育Ⅲ(7/31開催), 特別支援教育Ⅳ(1/10開催)

R2 特別支援教育Ⅰ(8/3開催), 特別支援教育Ⅱ(8/4開催), 特別支援教育Ⅲ(8/24開催)

R3 特別支援教育Ⅰ(8/2開催), 特別支援教育Ⅱ(8/5開催), 特別支援教育Ⅲ(10/15開催)

3 特別支援教育リーフレット「一人一人の輝く笑顔のために」に、本市「特別支援教育推進協議会」の意見等を随時反映し、市立幼稚園・小中学校等の関係機関へ配布や市HPへ掲載することで、本市における特別支援教育の取組について周知を図っている。